

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY

自由民主党

会報

令和6年
2024
4月号



ホームページもチェック!

Q 葛飾区議会 自由民主党議員団

検索

jimin-katsushika.com



令和6年第一回定例会が開催されました

代表質問



筒井たかひさ

危地域課題に取り組み、

活力ある多様な地域社会の実現を

◆当初予算案における税収増を受けての財政運営

問 税収増の今だからこそ、将来に備えるための基金の充実を考える必要があると思うが、区長の認識を伺う。

答 税などの一般財源は、令和5年度当初予算に比べて81億円ほどの増額を見込んでいるが、学校を中心とした施設の建て替えや大規模改修、公園や道路の整備などの事業を計画通り着実に進めていくためには、基金残高を確実に確保していくことが欠かせないと考えている。今後も、年間を通じた財政運営の中で、地方財政法の規程も含め、確実に基金の積み立てを図っていく。

※他の質問項目 基金の推移 など

◆新金線旅客化と地域公共交通の将来像

問 新金線旅客化について、今後、金町までの全線開通をどのように実現していくのか。また、課題の解決策として、発想を広げた新たな検討も進めていくべきと考えるが、いかがか。

答 これまでの鉄軌道としての整備方法だけでなく、海外の都市交通における新たなBRTの事例なども参考に、線路用地を活用し、定時制や、輸送力を備えた、路面交通ネットワークの仕組みを構築するなど、さまざまな方法を幅広く検討していく必要がある。

ある。課題も多くあるが、引き続き関係機関とも協議を重ね、早期実現を目指して着実に取り組んでいく。

※他の質問項目 公共交通の在り方や将来像 など

◆総合庁舎整備における物価高などによる影響

問 江戸川区の庁舎整備費用の見直しを受けて、本区の総合庁舎整備費用について、区長は区の財政運営上、どのような対策を考えているのか伺う。

答 建設業界の状況に鑑みると、本区においても、費用のさらなる増額は避けられないと認識している。今後、再開発組合から新たな資金計画が提供され次第、保留床額の増額要素や、地区内における建物の均衡など、さまざまな観点からの確認を行い、再開発組合との協議を進めていく。また、状況を速やかに区議会に報告するとともに、保留床額の妥当性の第三者による検証や総合庁舎整備基金の積立計画の増額などの対応を図っていく。

※他の質問項目 総合庁舎移転後の区民サービスの在り方 など

◆健康長寿のまちづくり

問 健康寿命を延伸させるためには、健康的な生活に向けた行動変容を区民に広げていく必要がある。令和6年度から開始する「区民と事業者の健康活動促進事業」で、区はどのように事業展開を図っていくのか伺う。

答 本事業では、スマートフォンなどで普段の運動や食事などの行動を手軽に記録できる仕組みを導入するとともに、収集したデータを分析して、一人一人に最適な健康行動を提案できる仕組みを構築していく。また、健康行動やその成果に対して健康ポイントを付与し、区内商店街

などで利用できる「かつしかPAY」に交換できるようにすることで、自分に合ったペースで楽しみながら健康づくりに取り組める「葛飾らしい健康づくり」を推進していく。

※他の質問項目 区内事業者の健康経営の促進 など

◆災害時における災害活動拠点の確保を目的とした自治町会会館の耐震化

問 災害時には地域の助け合いが欠かせないため、その活動拠点とも成り得る自治町会会館を早急に調査し、耐震化のための方策をとるべきではないかと考えるが、区の見解を伺う。

答 区では自治町会会館に対する助成制度を設け、新築や修繕などに対し支援を行ってきた。令和6年度当初予算案において、助成制度の拡充を行い、円滑な維持管理を促進していく。併せて、耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事を助成の対象に加え、自治町会会館が災害活動拠点として機能するように支援を行っていく。

※他の質問項目 能登半島地震を受けた災害対策 など

◆前例を打破した更なる観光開発による亀有地域のブランド化

問 グルメや商品、サービスなどを開発するため、積極的に区が介入し、持続的な取り組みを進めてほしいと思うが、区長の認識を伺う。

答 令和6年度は、亀有地域の商店などが作品の版權を活用した商品などを開発する際の支援制度を創設し、費用面で商品開発を後押しするだけでなく、版權元との交渉を区が窓口となり、一括で対応する予定としている。区が商品開発までの行程を支援し、各店舗が積極的に「こち亀」を活用できるようにすることで、「こち亀」ワールドという亀有地域のブランド化を推進し、観光地亀有の飛躍へとつなげていく。

※他の質問項目 亀有観光拠点施設 など

一般質問



大森ゆきこ

◆葛飾教育の日を活用した地域連携型防災訓練の実施

問 地域連携授業型の防災訓練を開催していくためには、学校と町会やPTAなどの地域団体とをつなげるコーディネイトが不可欠であると考えるが区の見解を伺う。

答 学校と地域とが連携した防災訓練が円滑に実施できるよう、教育委員会や地域などと連携し、パイプ役としての役割を積極的に務め、普段から顔の見える関係づくりを進めていく。

※他の質問項目 若年層の参加状況 など

◆授業で使用する物品の購入

問 使用頻度の高い学用品などの共有化は、低所得世帯の児童や家庭だけでなく、環境面、子ども達の安全面にも多くの利益をもたらすと考えるが、教育委員会の見解を伺う。

答 学校現場での実態を把握した上で学校の指導方針や保護者の要望なども踏まえながら、統一的な学用品の共用化について検討していく。

※他の質問項目 物品購入予算 など

◆送迎保育ステーション

問 今後、再開が予定される地域の人口増加に起因する保育需要には、送迎保育ステーションを活用し、周辺の保育園との

バランスも考えながら検討を進める必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 必要に応じて保育施設の整備を検討していくが、周辺施設の充足状況を加味した上で送迎保育ステーション機能の活用も十分考慮していく。

※他の質問項目 実施する目的 など

◆(仮称)葛飾区人権基本条例

問 わが党がかねてより要望している犯罪被害者に対する支援についてどのように実現していくのか。

答 国や都、関係機関が行っている経済的支援や生活支援などのさまざまな支援内容を参考に、隙間を埋めていく家事援助やカウンセリング費用の助成などを検討していきたいと考えている。

※他の質問項目 制定の目的 などの質問件名 木造住宅密集地域における市街地の不燃化

一般質問



秋本とよえ

◆「(仮称)全国みどり」と花のフェアかつしか」

問 イベントには、本区の地域課題の解決に結びつく新たな環境の取り組みなども取り入れてはどうか。区の見解を伺う。

答 花や緑の生産に係る産業の創出などを通じて、新たな産業への展開や持続可能で快適な環境づくりに寄与し、地域課題の解決につなげていく。

※他の質問項目 主催する目的 など

◆(仮称)葛飾区人権基本条例

問 かつしかDXの戦略的取り組みによって、行政サービスをどのように向上させようと考えているのか区の見解を伺う。

答 行かない、書かない、待たない窓口サービスを実現するとともに、内部業務の見直しや事務改善に積極的に取り組む。さらに、各分野の施策においてデジタル技術による付加価値を生み出していく。

※他の質問項目 区民事務所 など

◆児童相談所

問 児童相談行政のさらなる充実のために、児童相談部と関係部署との連携をさらに強化していくべきと思うが、区の見解を伺う。

答 子どもたちの権利や安全を守っていくためには、施策をさらに充実させ、児童相談所と関係部署とが相互に協力・連携していくことが重要である。児童相談所開設後、子どもに関する会議などを通じ、子どもを守るための協力体制を深めている。

※他の質問項目 職員のケア など

◆教育の推進

問 一人一人の個性を積極的に伸ばしていく教育にも取り組んでいただきたいと思うが、教育委員会の見解を伺う。

答 一人一人の多様性を尊重し、個性を積極的に伸ばす教育を進めていくことは大変重要であると考えている。そのため、令和6年度には、新規事業としてかつしかチャレンジプログラムの開設を予定しており、小中学生を対象とした自然科学コースなど3コースを設け、意欲の高い児童・生徒の能力をさらに伸ばしていきたいと考えている。

※他の質問項目 部活動の地域移行 など



総括質疑



高木信明

協働による地域コミュニティの活性化について

問 自治町会の課題整理について

答 現在、役員の高齢化と担い手不足、自治町会加入率の低下、自治町会活動への参加人数の低下、情報共有体制の4点が主な自治町の課題である。そのため、葛飾区自治町会連合会が主体となり、「自治町会活動のヒント集」を作成したところである。

問 区が寄り添った自治町会役員の負担軽減について

答 地域力向上事業費助成では、自治町会の運営に関する取組に要する経費を支援することとし、経費の1/2(5万円を上限)に助成を行う。具体的には、①外部人材の活用による事務業務や会計事務、補助金申請事務の委託、運営改善提案委託、テナントやぐらの設営委託、資源ごみ集団回収運搬委託などの支援、②LINEやSNSの導入、オンライン会議や電子閲覧の導入、自治町会保有情報のデータ化・集約化などを支援、③会議や行事の運営マニュアルの作成といった取り組みに対し支援を行っている。

誰もが安心して暮らせるまちづくりについて

問 住まいの防犯対策費助成事業の目的と、補助率や補助上限額の算定根拠について教えてください。

答 高齢者をターゲットとした特殊詐欺や強盗事件の増加に対応する目的として実施する。補助率と補助上限額は防犯設備の販売価格帯や他の自治体の申請金額を考慮して設定し、対象品目は防犯カメラ、録画機能付きドアホン、防犯性の高い錠、センサーライト、センサーアラーム、面格子、防犯フィルム、防犯ガラス、防犯砂利など。

問 令和6年度の特種詐欺被害防止に向けた対策について

答 令和5年度に実施している自動通話録音機の配布や特種詐欺防止のステッカーのデザイン改良、防犯講話や出前寄席の回数の増加を図る。

特殊詐欺啓発チラシの配布先の精査、青色防犯パトロールの強化、巡回による詐欺防止のアナウンスなどを実施して、犯行の抑止を図る予定。

総括質疑



池田ひさよし

令和2年度からの立石駅周辺地区賑わい創出について

問 議会において指摘がされている令和2年度からの「立石駅周辺地区まちづくり賑わい創出検討業務」は、議会への報告もないまま、年度途中の流用対応で開始された経緯があるが、事業実施にあたり当初予算に計上しなかった理由は何か。

答 立石駅周辺地区のエリアマネジメントについては、議会の中でも議論がなされてきたと理解している。商業環境を形成する賑わい創出業務については、エリアマネジメ

ントという枠組みの中で執行してきており、改めて議会への報告は行わなかった。また、賑わい創出検討業務は、立石駅周辺地区の3地区を合わせた商業環境を形成していくという困難な事業であり、3地区の事業進捗を勘案しながら開始する必要があったため、当初予算に計上する状況には至っていませんでした。

問 立石駅周辺地区まちづくり賑わい創出検討業務は、3地区を合わせた商業環境の形成を目的とする困難な業務であるにもかかわらず、まちづくりに関するコンサルティング業務の実績のない事業者と契約をし、実施をしてきたが、期待していた成果はあがっているのか。

答 委託仕様書で定められている成果物としての報告書は納入されている。しかし、3地区の商業環境を形成するために、コンサルティング業務の中で出された提案や研究を3地区に反映することはできず、その部分において期待した成果はあがっていない状況にある。これは区にも責任があり、3地区の商業環境をつくるという事業推進の中で、区が主導して物事を進めなければならぬこともあったと考えている。

問 令和2年度から始まった立石駅周辺地区まちづくり賑わい創出検討業務は、事業者との協議、予算措置、入札手続きや成果物等において、多くの疑点があるものであり、今後、議会として追求し、解明していく必要があると考えるが、区の見解を求めます。

答 議会と行政は車の両輪として、予算に関わることをはじめ、事業推進にあたっては、適宜適切に区議会に報告、提案をし、議論を深めながら、進めていく必要がある。そのことが、区民に資する事業を実施することにつながるかと考えている。

誰もが安心して暮らせる葛飾の実現のために

予算審査特別委員会での自民党の要望

総務費

私学事業団総合運動場敷地の活用を検討にあたりスポーツ施設全体的な視点から検討を進めることを要望いたしました。昨今の物価高騰による影響を調査し周辺住民への丁寧な説明を求めました。行財政改革は、ただ役職を増やすのではなく組織編成を工夫すること、デジタル推進については、生成AIを活用し委託料等の削減などの効果を出せるよう要望いたしました。

産業経済費

青砥駅高架下駅前広場のワルツの塔は葛飾が誇るシンボルでもあるため保存に努めること、商店街が解散し、商店街装飾灯の維持が難しくなった場合、区が管理を引き継ぐなど要望いたしました。また葛飾納涼花火大会は多くの来場者が予想されるため、警備やゴミ回収の範囲を再検討するよう求めました。

福祉費

民生委員の定数確保等に区としてのさらなる支援を求め、くらしのまるごと相談事業は地域参加支援をする中で実施してきたことを踏まえ、分野横断的に地域づくりに向けた支援を要望いたしました。高等学校卒業程度認定試験助成は、一人でも多くの方が助成を活用できるように受験を目指す方のライフスタイルに合った助成を、また子供の弱視については、さらなる周知を要望いたしました。

衛生費

健康づくり健康診査においても健診後の保健指導へつなぎ、ZOOM等のオンラインを活用し、行かずに保健指導が受けられる環境整備を要望いたしました。

環境費

区の環境行動推進に向け、カーボンオフ

セットと併せて本区の地域内の自然環境を守る取組を進めるよう求め、LED照明機器助成は、環境行動推進に向け施工業者への周知やごみ発生抑制行動促進に向け、かつしかルールの周知を要望いたしました。

都市整備費

地域ごとに展開する自動運転バス事業の検討、サイクル&バスライドの整備拡大を図ることを強く要望いたしました。物価高騰の状況を自転車駐輪場の委託費と利用料に反映し、健全な財政運営と限りある人材を有効活用していくよう求めました。公園整備は、健康用具や滑り台などに対する猛暑日の高温に備えた安全性の確保を要望いたしました。

教育費

不登校児への対応として原因を分析し児童相談所との連携など環境づくりの推進を求め、かつしかチャレンジプログラムの内容・回数の一層の充実を求めました。放課後等の児童の居場所については、将来的に全ての小学校で同様のサービスタとなるよう事業展開を求めました。マラソンの公道開催は、掘切発着に拘らず実施可能性の高いルートでの検討を進めること、奥戸陸上競技場の天然芝生化はJリーグ基準を取り入れるなど将来を見据えた改修をするよう求めました。

そのほかの各特別会計につきましては、適切な予算編成と認め、これを了いたしました。

原材料価格の上昇や円安の影響等により、区民生活や区内業者の事業活動に大きな影響を及ぼしている状況下で、令和6年度予算の執行に当たっては、区民満足度の高い行財政運営に努めていく必要があり、区民満足度の高い行財政運営を進めていくべきと意見を表明いたしました。

視察レポート

長崎視察 令和6年2月8日 長崎スタジアムシティプロジェクトについて

都市再開発プロジェクトの概要、進捗状況やスタジアムの機能等についての説明を受けました。長崎市では建設プロジェクトと同時に、ふるさと納税や機運醸成事業にも注力しており、我が区のスタジアム構想も地域振興や文化の発展につなげる事業にしていく必要があると確信しました。



大分視察 令和6年2月9日 モビリティサービスについて

大分市では13地域の実行運転と検証を経て本格運行に移行しています。また、地域課題に合わせた積極的なアプローチを進めており、我が区のモビリティサービスの構築において地域の発展と利便性の向上について大変参考になりました。



保田しおさい学校視察 令和6年3月28日

肥満、喘息、虚弱・心身症などの子どもたちが寄宿舎生活を通して規則正しい生活リズムを身に付け、心身の健康向上に取り組んでいます。子どもたちが在籍学校へ復帰した後も力を発揮できるよう、日ごろから近隣の小中学校とも連携を図っており、また寄宿指導員や先生方は、家族のように思いやりを持って子どもたちに寄り添ってくださっていることが伺えました。



■発行/葛飾区議会自由民主党議員団(葛飾区立石5-13-1)
■電話: 03-3695-1111
■発行責任者/筒井たかひさ
■編集長/大森ゆきこ
■編集委員/梅沢とよかず 高木信明

お気軽にご意見をお寄せください!
葛飾区自民党HP

